



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月31日

上場会社名 アズワン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7476 URL <https://www.as-1.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井内 卓嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 西川 圭介 (TEL) 06-6447-1210
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	24,168	11.2	2,741	11.3	2,854	11.5	1,959	10.9
2024年3月期第1四半期	21,735	6.2	2,462	△2.4	2,559	1.6	1,766	1.7

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 949百万円(△29.5%) 2024年3月期第1四半期 1,347百万円(114.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	27.36	27.33
2024年3月期第1四半期	24.40	24.37

(注) 当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	90,283	63,409	70.1
2024年3月期	95,832	64,662	67.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 63,289百万円 2024年3月期 64,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	50.00	—	62.00	112.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	28.00	—	29.00	57.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2025年3月期及び2025年3月期(予想)につきましては、分割後の金額を記載しております。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,970	6.5	4,930	△0.9	5,300	2.6	3,710	4.5	51.81
通期	101,230	6.0	11,030	5.7	11,600	7.2	8,060	7.5	112.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	79,752,540株	2024年3月期	79,752,540株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	8,135,380株	2024年3月期	8,143,696株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	71,610,362株	2024年3月期1Q	72,375,993株

- (注) 1. 当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数（自己株式を含む）」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。
2. 期末自己株式数においては、株式給付信託（取締役向け）及び株式給付型ESOP信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が所有している当社株式（2025年3月期1Q170,758株、2024年3月期179,198株）を含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1.経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
3. その他	11
販売実績	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年6月30日、以下「当第1四半期」という)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や大企業の良い収益環境から設備投資に持ち直しの動きがみられるなか、景気は緩やかな回復傾向となりました。一方で、円安や人手不足などによる物価高、中国の景気減速、中東やロシア・ウクライナ情勢の混迷などから先行き不透明な状況が継続しております。

このような事業環境のもと、当社は以下施策等を遂行し、当社が卸としてハブ機能を発揮できるビジネスを深掘りし、デジタル化・省人化を求めお客様のご利便性を高め、更なる領域の拡大を推進してまいりました。

主な施策

- ・商品データベースSHARE-DB上の取扱商品を1,090万点超に拡大(前年同四半期末比約130万点増)と各種チャネルへの展開
- ・サプライヤーとの在庫連携を推進しWEB上にお見せする在庫を約1,290億円分まで拡大(前年同四半期末比約400億円増)
- ・EC施策として集中購買システムocean接続先を353社に拡大(ocean接続先:前年同四半期末比62社増)
- ・同じくEC施策として販売店支援型ECシステムWaveへのエンドユーザー登録者数を18,247社に拡大(Waveエンドユーザー数:前年同四半期末比3,936社増)
- ・診療報酬改定や日本薬局方改正に伴う対象商材の販促

これらの活動が相乗効果を発揮し、当第1四半期の連結売上高は241億68百万円(前年同四半期比11.2%増)となりました。

収益性については、調達コストの上昇と並行して機動的なプライシングを実施しておりますが、メディカル部門における販売商品構成の変化に加えラボ・インダストリー部門でも比較的高額な設備・装置の引合いが増加したこと等により、前年同四半期との比較において売上総利益率は1.4ポイント低下しました。一方、売上高の伸張が大きく売上総利益の金額ベースでは4億32百万円増加しました。

販売費及び一般管理費については、45億26百万円(同3.5%増)となりました。増加要因としては、人材投資の一環として実施している賃上げや新規採用による人件費の増加、売上成長に伴う運賃・倉庫作業料の増加、4年ぶりとなる中国語カタログの発刊等による広告宣伝費の増加がありました。

この結果、営業利益は27億41百万円(同11.3%増)、経常利益は28億54百万円(同11.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億59百万円(同10.9%増)となりました。

部門別の状況及び中期経営計画主要売上施策の進捗状況は以下のとおりです。

<部門別の状況>

部門別の売上高は以下のとおりとなりました。

部門	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) (百万円)	前年同 四半期比 (%)	同期間 期初計画比 (%)
ラボ・インダストリー部門	17,727	19,663	110.9	103.6
ラボラトリー分野	13,230	14,553	110.0	103.3
インダストリー分野	4,497	5,109	113.6	104.5
メディカル部門	3,874	4,367	112.7	107.4
その他	134	137	102.3	103.5
合計	21,735	24,168	111.2	104.3

<ラボ・インダストリー部門>

大学、研究機関及び企業の研究部門等を対象とするラボラトリー分野では、官民ともに活発な研究活動が行われ、ラボ用消耗品、分析器具、高額分析装置等の売上が伸長しました。また、チャンネルとしては集中購買システム及びネット通販事業者向けの売上高が前年同四半期比15.0%増と当分野の成長を牽引しました。これらにより当分野の売上高は145億53百万円（同10.0%増）と堅調に推移しました。なお、2023年6月30日より新たな連結対象会社加わり当分野の売上に1.7%程度プラスに寄与しております。

また、製造現場等を対象とするインダストリー分野では、各産業へ商品供給のハブとしての当社利便性の浸透が進み、クリーンルーム消耗品、データロガー、ATP測定器、温湿度記録計、pH計等多方面で売上が伸びました。チャンネルとしては、ラボラトリー分野と同様、集中購買システム及びネット通販事業者向けの売上高が同35.7%増と当分野の成長を牽引しました。これらにより当分野の売上高は51億9百万円（同13.6%増）となりました。

ラボラトリー分野、インダストリー分野とも、拡大を続ける商品データベースの情報を各販売チャンネルに効果的に展開していく営業活動が奏功しました。この結果、当部門の当第1四半期の売上高合計は196億63百万円（同10.9%増）となりました。

<メディカル部門>

医療機関や介護施設等を対象とするメディカル部門では、新型コロナウイルス感染症需要の反動減が一巡し、6四半期ぶりに増収に転じました。開業支援活動や診療報酬改定等に応じた商品提案活動を行っているほか、クリーンルーム設備施工の実績から派生して再生医療に必要なCPC（細胞培養加工施設）の申請から設計、施工、機器装置の納品まで一括でサービス提供を行う活動が奏功し、通常需要に加え大口の一括受注の獲得が出来ました。また、集中購買システム及びネット通販事業者向けの売上高は、まだ少額ながら同91.7%増と進み売上増加額の半分を占めるようになりました。この結果、当部門の当第1四半期の売上高は43億67百万円（同12.7%増）となりました。

なお、再生医療に関して、大阪市北区中之島に2024年6月に開所された産学医が集結し協創する未来医療国際拠点Nakanoshima Crossに解析受託やCPC環境の設備提供などを通じた情報発信拠点として当社拠点中之島クロスラボを開設しました。メディカル部門に限らず各分野のニーズにお応えしていく予定です。

詳細は「アズワン中之島クロスラボ」開設のお知らせをご確認ください。

<https://ss14.eir-parts.net/doc/7476/announcement/102113/00.pdf>

<その他>

連結対象会社の株式会社トライアンフ・ニジュウイチは「Off Side」システム等により理化学機器・消耗品等のWEB購買業務代行サービスやシステム提供を行っております。顧客のシステム利用の増加等に伴い、当部門の当第1四半期の売上高は1億37百万円（同2.3%増）となりました。

<中期経営計画－PROJECT ONE ver. 2.0－における主要売上施策の進捗状況>

中期経営計画で掲げる主要売上施策は以下のとおり推移しました。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) (百万円)	前年同 四半期比 (%)	同期間 期初計画比 (%)
eコマース	6,477	7,984	123.3	106.5
海外事業 ※	1,162	1,216	104.6	109.5
合計	7,639	9,201	120.4	106.9

※海外事業の6割強は中国現地法人の売上ですが、現地法人事業年度が1～12月のため、第1四半期連結累計期間には現地における1～3月の売上高を連結しております。

eコマースについては、ネット通販事業者向けや「AXEL Shop」等のオープンサイト系ECチャネルで、特にネット通販事業者向けにおいて掲載商品の拡大や各種連携により、売上高は前期比29.0%の増収となりました。また、大手ユーザー向け集中購買システム「ocean」や販売店支援型ECシステム「Wave」といったクローズドサイト系ECチャネルにおいては、新規アカウントの増加、掲載商品の拡大、顧客側での研究施設拡充等により既存接続先の利用拡大が進んでおり、売上高は同18.3%の増収となりました。

海外事業のうち中国については、ラインナップの充実や日本製バイオ関連装置の販促活動を行うも、経済停滞の影響により同7.4%の減収となりました（現地通貨ベースでは同13.6%減）。一方、日本からの海外への輸出を含めた中国以外の海外事業においては、「AXEL GLOBAL」の掲載情報の充実や多言語化が奏功し流入顧客数が増加、また、営業活動により各国で当社製品の在庫保有販売をする代理店も増加し、売上が伸長しました。これらにより中国以外の海外事業は、同30.1%の増収となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、902億83百万円（前連結会計年度末比55億48百万円減）となりました。このうち流動資産は、572億53百万円（同39億75百万円減）となりました。これは、主として現金及び預金が25億24百万円減少したこと、受取手形及び売掛金と電子記録債権を合わせて17億25百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、330億29百万円（同15億72百万円減）となりました。これは、主として中之島クロスラボの開設等に伴い建物及び構築物が2億91百万円増加した一方、投資有価証券が16億80百万円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、268億74百万円（同42億95百万円減）となりました。このうち流動負債は、224億74百万円（同36億27百万円減）となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が22億32百万円減少したこと、未払法人税等が7億98百万円減少したこと、賞与引当金が2億38百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は、43億99百万円（同6億68百万円減）となりました。これは、主として長期借入金金が3億73百万円減少したこと、繰延税金負債が3億72百万円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、634億9百万円（同12億52百万円減）となりました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が11億44百万円減少したこと、配当金の支払い等によ

り利益剰余金が2億65百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期において、業績は概ね計画を上回るペースで進捗しておりますが、現時点では2024年5月14日公表の数値を据え置き、業績予想は変更しておりません。

なお、期初公表の計画通りですが、例年第3四半期連結会計期間に発刊していた総合カタログの発刊時期を前倒しし、第2四半期連結会計期間末に発刊する予定です。これにより、当年度の第2四半期連結会計期間においては、例年になくカタログ発刊費用（広告宣伝費）が、第3四半期連結会計期間から第2四半期連結会計期間に前倒しに計上される予定（期初計画通り）です。

また、中国現地法人の決算は当第1四半期において1～3月の決算を連結しておりますが、4～6月間の現地通貨速報ベースの売上成績は、前年並みまで回復してきております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,185,025	10,660,804
受取手形及び売掛金	22,187,090	20,500,361
電子記録債権	13,474,863	13,435,742
有価証券	700,453	499,950
棚卸資産	10,831,943	11,386,779
その他	860,621	780,027
貸倒引当金	△10,076	△9,716
流動資産合計	61,229,920	57,253,948
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,765,053	3,056,947
土地	2,048,687	2,048,687
その他（純額）	3,293,825	3,187,617
有形固定資産合計	8,107,566	8,293,252
無形固定資産	1,634,586	1,581,873
投資その他の資産		
投資有価証券	19,702,041	18,021,552
繰延税金資産	102,878	106,190
投資不動産（純額）	3,780,649	3,768,457
その他	1,304,092	1,291,962
貸倒引当金	△29,305	△33,312
投資その他の資産合計	24,860,357	23,154,849
固定資産合計	34,602,509	33,029,975
資産合計	95,832,430	90,283,923
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,939,728	17,706,956
短期借入金	1,288,784	1,262,504
未払法人税等	1,612,754	814,401
賞与引当金	964,107	725,923
その他	2,296,414	1,964,835
流動負債合計	26,101,788	22,474,621
固定負債		
長期借入金	2,313,850	1,940,614
繰延税金負債	533,369	160,788
株式給付引当金	155,780	151,228
役員株式給付引当金	74,165	74,165
退職給付に係る負債	83,419	81,488
資産除去債務	1,242,692	1,327,859
その他	665,105	663,729
固定負債合計	5,068,382	4,399,873
負債合計	31,170,170	26,874,494

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,075,000	5,075,000
資本剰余金	4,337,748	4,337,748
利益剰余金	60,641,323	60,375,504
自己株式	△10,929,868	△10,906,901
株主資本合計	59,124,203	58,881,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,019,516	3,874,944
為替換算調整勘定	398,749	533,342
その他の包括利益累計額合計	5,418,266	4,408,287
新株予約権	119,790	119,790
純資産合計	64,662,260	63,409,428
負債純資産合計	95,832,430	90,283,923

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	21,735,902	24,168,034
売上原価	14,901,116	16,900,266
売上総利益	6,834,785	7,267,767
販売費及び一般管理費	4,372,720	4,526,469
営業利益	2,462,065	2,741,298
営業外収益		
受取利息	28,493	30,009
受取配当金	38,028	50,287
不動産賃貸料	108,032	107,860
その他	23,542	16,450
営業外収益合計	198,096	204,607
営業外費用		
支払利息	753	820
不動産賃貸原価	44,334	42,868
為替差損	55,190	39,875
その他	409	7,391
営業外費用合計	100,688	90,955
経常利益	2,559,474	2,854,950
税金等調整前四半期純利益	2,559,474	2,854,950
法人税、住民税及び事業税	648,771	764,631
法人税等調整額	144,399	130,708
法人税等合計	793,171	895,340
四半期純利益	1,766,302	1,959,610
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,766,302	1,959,610

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,766,302	1,959,610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△441,693	△1,144,572
為替換算調整勘定	22,414	134,593
その他の包括利益合計	△419,279	△1,009,979
四半期包括利益	1,347,023	949,630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,347,023	949,630

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、ラボラトリー分野、インダストリー分野及びメディカル・介護分野における販売店様に、主として機器・備品・消耗品等を卸売の形態で販売しております。取扱商品は多種多様ですが、対象市場・顧客、調達方法及び販売方法等について類似する事業を営んでおります。この他、WEB購買業務代行事業がありますが、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。このため報告セグメントは一つであります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	413,824千円	412,580千円

3. その他

販売実績

a. 部門別販売実績

部門	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
ラボ・インダストリー部門	17,727,420	81.6	19,663,081	81.3
ラボラトリー分野	13,230,126	60.9	14,553,318	60.2
インダストリー分野	4,497,293	20.7	5,109,763	21.1
メディカル部門	3,874,251	17.8	4,367,636	18.1
その他	134,230	0.6	137,315	0.6
合計	21,735,902	100.0	24,168,034	100.0

(注) 1. 部門別販売実績は、部門ごとに管轄する販売店への販売実績を集計した補足情報であり、セグメント情報の記載ではありません。

2. その他は株式会社トライアンフ・ニジュウイチのシステム利用料売上等であります。

b. 品目別販売実績

品目	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
科学機器・装置				
汎用科学機器・装置	2,313,973	10.6	2,525,310	10.4
分析、特殊機器・装置	4,237,800	19.5	4,683,163	19.4
物理、物性測定機器・装置	1,176,496	5.4	1,355,166	5.6
実験用設備機器	2,574,996	11.9	3,404,931	14.1
小計	10,303,267	47.4	11,968,572	49.5
科学器具・消耗品				
汎用器具・消耗品	5,318,042	24.5	5,815,916	24.1
半導体関係特殊器具	2,254,081	10.4	2,297,165	9.5
小計	7,572,124	34.9	8,113,081	33.6
看護・介護用品	3,726,279	17.1	3,949,065	16.3
その他	134,230	0.6	137,315	0.6
合計	21,735,902	100.0	24,168,034	100.0

(注) 1. 品目別販売実績は、当社の品目分類による品目ごとの販売実績を集計した補足情報であり、セグメント情報の記載ではありません。

2. その他は株式会社トライアンフ・ニジュウイチのシステム利用料売上等であります。